

令和3年度 佐久市総合計画審議会第3部会（第1回） 会議録

日時：令和3年7月15日（木）

午後1時30分～

場所：佐久市役所6階602会議室

【出席者】木次部会長、安原副部会長、土屋委員、岩田委員、井出（進）委員、
藤牧委員、小林委員、臼田委員、沖津委員、山崎委員、依田委員

【事務局】若林課長、木下企画調整係長、金澤主任、大井（実）主任

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（雨宮委員）

2 議事

（1）第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について
質疑、意見

事務局	<p>はじめに、前回の全体会でもご説明申し上げましたが、再度委員の皆様にご審議いただく上での留意点を説明させていただきます。</p> <p>地方創生を実現するためには、事業を実施するだけでなく、従来の政策の反省の上に立ち、PDCA サイクルを確立していくことが必要であります。PDCA サイクルに基づく効果検証・進行管理の実践は、地方創生に向けた、より効果的な施策の推進に必要不可欠なものです。</p> <p>皆様には、KPI 未達成の事業に対しては、そもそも KPI の設定自体が高すぎたのではないかも含め、どう改善すれば目標値に近づけたのか、KPI 達成の事業に対しては、KPI の設定自体が低すぎたのではないかも含め、更なる効果を生むためにはどうすればいいかなどの意見を頂戴したいと思っております。</p> <p>また、基本目標①「まちの創生」を達成するために、「こういう地方創生事業をやったほうがいい」という意見もあれば頂戴したいと思っております。</p> <p>基本目標③「結婚・出産に先んじて子育てのトップランナーを目指す、佐久市における『ひと』の創生」について説明</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

部会長	事務局から説明がありましたが、ご質問等ありますか。
委員	「子育てのトップランナー」とありますが、他の市町村の比較対象がないと、この資料だけでは分かりません。
事務局	横の比較をしたというよりは、多くの人にそういう風を感じてもらえるような場所にするという意味合いで使っています。
委員	絶対比較するのではなく、様々な地域で評判のいい子育て支援をしている地域があるのではないかと思います。そこで喜ばれていることは何なのか、というのを調べて、佐久市でやっているというのなら分かりますが…。バックグラウンドがなければ、評価ができません。
事務局	第2期戦略を初めてやったので、我々としてもどのような自己評価の仕方が、皆さんに評価してもらうのに適しているのか、探り探りなところもありました。足りない部分もあったかと思しますので、ご意見として伺って、評価の仕方に活用したいと思えます。
委員	働いている女性が多い中で妊娠しやすい環境というのは、具体的な策があったら教えてほしいです。働く女性が安心して出産できるという状態ではない気がします。
事務局	P23の事業をご覧いただくと、⑥や⑦に子育て世代が弾力的に働くことのできる環境整備や、男女が共同参画していく中で働ける環境づくりを仕事の分野の中で取り組もうとしているところです。
委員	現在、未満児の保育料は無料ではないですよ。名古屋市では未満児が無料になっています。未満児は、保育園に預けると、とても高額です。もし未満児も保育料が無料になったら、第3子でも出産しようかなと思う人はいるかもしれません。それから、名古屋では出産するときの入院時に上の子どもも一緒に入院できました。お金はかかるとは思いますが、そういう病院も検討してほしいと思えます。

事務局	<p>初めて子どもを産むということを促していくのが、ハードルが高い中で、3人目を産む方のほうが可能性として高いのではないかという考えが戦略の視点の中にあります。まさにご提案いただいたことは、戦略に沿ったことだと思いますので、優れた事例として参考にしたいと思います。</p>
委員	<p>プラス要因は書かれているが、逆にどういうところに満足していないのかという具体的な所をご提示していただけると、検討できるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>アンケートの自由記述として多かったのが、経済的な理由、産むのにお金がかかるという理由で、2、3人目を産むのを考えてしまうという記述がありました。未満児の保育料のご意見もあったが、未満児の保育料がかかると仕事の両立が難しいなどの意見が、20～30代の女性からあげられています。</p>
委員	<p>出生率とは別に夫婦が子どもを何人計画しているかという子育て計画の中で1人で十分と思っているのであれば、行政でどんなに子育ての環境整備をしても、出生率はあがらないと思います。若い世代が夫婦間で子どもを何人育てたいといった計画があって、今は事情があって1人で我慢しているなどの統計があって書いているものなのではないのでしょうか。行政側の指針と子育てする側が違っていれば、同じ方向に向いていかないのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>国の長期ビジョンの中で、人口が保っていける子どもの数は2.07とし、それに向けた戦略としていますが、佐久市は、今、現在全国平均よりも上回っているので、5年位早く、その目標に達するよう動いています。</p> <p>戦略策定時に行ったアンケートの中では、欲しい子どもの数は2.04という数値ですが、予定している子どもの数は1.5人とのことです。子どもは多く作りたいが、現実にはそうはいかない。理由とすると、経済的な理由や子育てと仕事の両立の難しさなどがあがっています。</p> <p>市としては、理想と現実のギャップを埋めていくために、低い負担で高いサービスを提供できれば全てトップランナーになれるが、限られた財源の中でどこに一番力をいれていくかという中で戦略</p>

<p>部会長</p>	<p>のこの部分に力をいれていきましょうということで戦略を立てたものが、今の形であり、アンケートの数字を根拠として作っています。</p> <p>お時間の関係もございますので、他にご意見、ご質問がある場合には、次回部会までに、事務局に個別にご連絡をいただければと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>基本目標③について、本日のご意見及び個別のご意見を取りまとめたいと思います。出されましたご意見は、事務局で取りまとめ、次回以降の部会で委員の皆様にお示しし、確認をいただく形を取りたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

(2) その他

質疑、意見

<p>部会長</p>	<p>その他について、事務局から何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の開催は、7月29日(木)13時30分からの予定です。</p>
<p>部会長</p>	<p>全体を通して、委員から何かありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料は事前に送ってほしいと思います。</p>

3 閉会